



## 一般質問

佐々木 常子 議員

質問の  
ねらい

### 安心・安全の当別町に！！

新型コロナウイルス感染症がまん延し、緊急事態宣言が発令され、未だかつてない事態となった。宣言の解除後、「北海道スタイル」が発表され、私たちは感染を防ぐため、しっかり取り組まなくてはならな

い。町民の皆さまが安心して暮らせるよう新たな防災・減災対策を進める必要がある。また、子どもたちのため文部科学省が立ち上げた「GIGAスクール構想」を実現すべく積極的にICT教育を進めるべきである。

ここを  
聞きたい

### 感染症対応の避難所運営

**問** 災害が起こった場合、感染のリスクに対応した避難所運営をしていかななくてはならない。感染症に対する備蓄や避難所開設の準備など、状況や今後の対策は。

**答** 密にならないよう多くの避難所を開設し、マスクや消毒液などの備蓄量の拡大や、避難所における感染回避訓練もスタッフ研修と併せ予定している。台風の時期をめどに調整を進めている。

ここを  
聞きたい

### 各避難所に言語カードを

**問** 外国の方、聴覚障がい者の方のために、意思疎通が難しい方にも分かりやすく伝わる言語カードを、各避難所に用意することは大事。各避難所に言語カードを用意する考えは。

**答** 言語カードは、非常に効果的であると思うので、各避難所に用意をしていくつもりである。

ここを  
聞きたい

### ペット同行避難の対策は

**問** 人とペットのエリア分けができる避難所を指定し、受け入れ条件や管理方法など自治体としてできること、町民の皆さまにも準備していただくこと、両方を明確にして周知すべきでは。

**答** 避難先でペットが心の癒しとなることは認識しているが、まずは人命の確保が何よりも重要。避難所の規模や構造に十分配慮しながらその都度対応するしかないと考えている。



防災備蓄品の一部

ここを  
聞きたい

### 町教委ホームページの充実

**問** 休校措置が取られた場合など、例えば札幌市教委のホームページのように、学習課題などを分かりやすく生徒や保護者の方が検索できる環境を作るべきでは。

**答** 既に各小中学校では、ホームページへ学習支援コンテンツの貼り付けや、質問や相談をメールで受け付けるなどの取り組みが行われている。教育委員会はこの取り組みを指導、助言していく。

ここを  
聞きたい

### ICT教育で特色ある教育

**問** ICT※1教育に積極的に取り組み、当別町の教育を特色ある魅力あふれるものにしていくためには、今がチャンスでは。

**答** ICT活用を進め、情報活用能力を高めたり、共同学習や課題解決学習を進め、魅力ある小中一貫教育を進めていく。

【その他の主な質問項目】  
福祉避難所の増設、当別町におけるICT教育の進捗状況と取り組み など

※1 ICT…Information and Communication Technology の略。メールやSNSなど通信技術を活用した産業やサービス等の総称。

# 一般質問

櫻井 紀栄 議員

質問の  
ねらい

## 当別町スタイルづくり

GIGA スクール構想によるオンライン教育は、子どもたちの学習スタイルが多様になる。あらゆる環境に柔軟に対応できるよう、ネット環境の整備について伺った。また、外に出ることのできない日の遊びや学

習のサポートが必須。家の中で体を使って遊ぶことのできる用具の貸し出しについて伺った。さらに、住民の防災意識を高め、町民全体の情報伝達手段となり得るコミュニティFMの開設について伺った。



ここを  
聞きたい

## 休校時の学習支援は

**問** プリント配布や分散登校などで子どもの学習環境は一定程度維持されてきた。しかし、保護者からは勉強の教え方が分からないとの声が上がっていたが、その対応は。

**答** 学校のホームページに、保護者が指導するときに必要なことや有効なことを載せているので参考にしてもらいたい。緊急事態での対応で十分ではないと認識している。今後工夫していきたい。

ここを  
聞きたい

## 公平な学習環境の確保は

**問** 子どもたちへ公平にオンライン授業を行うためには、ネット環境がない家庭の通信機器の確保が必要であるが、家庭にネット環境やパソコンがない場合の対応は。

**答** GIGA スクール構想に基づき、児童生徒一人ひとりに学習用端末を配付する準備を進めている。ネット環境がない家庭に対しては、モバイルWiFiルータの導入について検討している。

ここを  
聞きたい

## 最新情報の伝達手段

**問** 地域に密着した自由な番組や情報の提供が可能であり、また、情報伝達手段として有効であり、地域の重要な情報発信源にもなるコミュニティFMの検討は。

**答** 町に欲しい事業の1つであるが、この町の規模で町が主体的に経営するのは難しい。民間団体などから、安定経営が見込める企画提案がもらえれば、検討したい。

ここを  
聞きたい

## 大型おもちゃの貸出

**問** 体を使って遊ぶことは子どもの発達に欠かせないものだが、公園の遊具は感染症を懸念して閉鎖していた。その遊具の代替案として、安全に遊べる室内で使えるおもちゃの貸し出しの検討は。

**答** 感染の恐れがあるので、玩具の貸し出しをすることは考えない。施設自体を閉めたことの意義を考えると、当然の対応と考えている。



子育て支援センターのおもちゃ (ゆとろ)

ここを  
聞きたい

## 屋内で遊べる施設を

**問** 当別町においては冬場の遊び場確保が必須で、吹雪く道を通っての町外への外出は命がけ。天候に関係なく遊べて、体を動かせる遊具を設置した室内施設の検討は。

**答** 現在、新たな施設の設置は考えていないが、子育て支援センター、総合体育館、西当別コミセンに玩具などを置いて利用できる環境を整えており、遊具は随時更新することになっている。





## 一般質問

澁谷 俊和 議員

質問の  
ねらい

### 常に住民の声に耳を傾けているか

JR新駅と太美駅周辺のまちづくりについて、当別町総合計画あるいは立地適正化計画、特にコンパクトシティづくりとして、太美駅周辺で持続可能なまちづくりを進めると言ってきたが、新駅について、多くの町

民にはどのような位置付けなのか説明されていない。特に太美駅から1.5kmしか離れていないことから、今後、太美のまちづくりと新駅との関連について、具体的にどうなっていくか町として示すべきでは。

ここを  
聞きたい

### 住民の訴えを受け止めて

**問** 太美駅東西通路（跨線橋）のハトのふんについて、近所の人たちは「本当にひどい」と言って、大変心配をしている。住民の訴えをまともに町は受け止めるべきではないか。

**答** 巢の撤去やネットの施工、清掃などJRも努力してくれているが、今朝現場を見ると餌がまかれていた。この行為が問題のもとにある。JRと連携し、衛生管理に支障がないよう進めたい。



ハトのふんで問題に取り上げられている太美駅跨線橋



樺戸団地（町営住宅）

ここを  
聞きたい

### 町住の今後の見通しを

**問** 町営住宅は築40～50年経過。建て替えなどの見通しについて、年次別計画などは示されておらず、入居者は不安でいっぱい。将来的な町営住宅の展望について、具体的に示すべきでは。

**答** 改修や補修の延命措置は限界で、建て替えに大きく方針転換する時期。莫大な事業費を要するため、民間活力の導入や補助金など戦略が必要。今後10年の計画を策定すべく作業を開始した。

ここを  
聞きたい

### JR新駅とまちづくり

**問** 立地適正化計画、特にコンパクトシティとして、当別駅周辺と太美駅周辺が位置付けられている。この計画と新駅構想との関連性は。

**答** 今年3月に策定した総合戦略を含む第6次総合計画と立地適正化計画の中に町の施策としてしっかりと位置づけている。立地適正化計画では、都市機能誘導に関する施策として明記されている。



JR 札沼線新駅建設予定地

## 一般質問

鈴木 岩夫 議員

質問の  
ねらい

## コロナ第3波の感染流行に備えて

緊急事態宣言の解除に伴い、自粛要請も解除された。安心して社会経済活動を進めるためにも「検査」が必要だ。町で実施する考えはないか質した。また、町が実施する新型コロナウィルス緊急支援対策に医療・介護

施設の経営難を支援するメニューがないので、今後実施する考えはあるか質した。そして、他の地域より休校措置が長期化した当別町の受験生が試験範囲などで不利にならないよう道教委に強く要請すべきと質した。

ここを  
聞きたい

## 検査が必要ではないか

**問** 緊急事態宣言の解除に伴い自粛要請も解除。安心して社会経済活動を進めるため、抗体検査、PCR検査が必要。国、道に要請すべきでは。国、道が実施しない場合、町で実施する考えは。

**答** 国や道に要請している。道の検査体制の拡充により、当別町は江別市の検査センターが使えることとなる。抗体検査は道医療大が独自に行うと聞いたので、町として協力していきたい。

ここを  
聞きたい

## 入院可能な医療施設を

**問** 発熱した患者が救急車で16か所の医療機関に断られるという事態が発生した。優先的に受け入れる提携病院の確保が必要では。入院可能な医療施設の開設を急ぐべきと考えるが認識は。

**答** 救急医療現場の性質上、優先的な受け入れは難しいと認識している。入院可能な医療施設に関しては、引き続き医療と介護を運営する医療法人の誘致に向けて継続して取り組んでいく。



当別消防署の救急車

ここを  
聞きたい

## 緊急支援対策の拡充を

**問** 町が実施する緊急支援対策について、医療・介護施設の経営難を支援するメニューが見当たらないが、今後実施する考えは。

**答** 今まではいち早く衛生物資の供給を行うことで支援をしてきており、今後も継続していく考えである。このような感染症が長く続く場合は、経営への支援策の検討も必要だと考えている。

ここを  
聞きたい

## 思い切った支援を

**問** 児童生徒に対する緊急支援対策について、休校措置が取られた場合に、オンライン授業ができるよう整備が必要では。また、就学援助事業は、審査基準の拡大をすべきでは。

**答** オンライン授業は大変重要なツール。活用できれば多様な保障ができる。GIGAスクール構想を進め、実現を図りたい。就学援助の審査基準は、既に見直し、少し幅が広がったと考えている。

ここを  
聞きたい

## 不利にならないように

**問** 長期間の休校があったため、高校受験の試験範囲で当別町の受験生が不利にならないよう道教委に強く要請すべきでは。

**答** 道教委へはテレビ会議に3回出席し、範囲の見直しなどを促してきた。道町村教委連からも申し入れを行っている。

## 【その他の主な質問項目】

子育て応援商品券の高校生への拡大、道医療大の学生への支援策、教職員の増員、教育課程編成 など





## 一般質問

五十嵐 信子 議員

質問の  
ねらい

### 空き家・空き地の有効活用を

今後も進んでいく人口減少の中にあっても、土地の有効活用を通して、いかに町が活力を取り戻し、災害にも強く安全な地域を構築することができるかが課題である。空き家、空き地の所有者と利活用したいという

希望者のマッチングをする事業は必要と考える。また、社会の急速なグローバル化の進展により英語を使う力の必要性が高まっている。英語検定料の助成についても質した。

ここを  
聞きたい

### 空き家対策！官民連携で！

**問** 山形県鶴岡市のNPO法人つるおかランドバンクは、空き家などを所有者から寄付、売却してもらい、再生する手法で、空き家対策などを行っている。付随する活動も含め参考にすべきでは。

**答** 当別町にランドバンク事業はそぐわないと考えている。管理不全や所有者不明の空き家、空き地、賃貸や売買している市場性のある物件は案外少なく、民間と連携した取り組みは非常に難しい。

ここを  
聞きたい

### さらに人を呼び込む発信を

**問** 当別町で起業したい、手頃な物件があれば引っ越したいが、なかなか見つからず断念するケースがある。利活用を望む所有者より情報を集め、人の集まる道の駅などで手取りやすく設置しては。

**答** 所有者不明の空き家や、市場性のある物件は少なく、道の駅に貼り出しても効果が期待できない。町ホームページの住まい情報、空き家情報を活用していただくことで、今は十分と考えている。

ここを  
聞きたい

### 英語力向上への取り組みは

**問** 国の教育振興基本計画では、中学3年生で英検3級相当以上の英語力を持つ生徒を50%以上とする目標を設定している。目標達成を目指し具体的にどのような取り組みを行ってきたか。

**答** ALT※1や小中一貫教育推進講師を配置。小学校の新学習指導要領は本年度から実施だが、それに先駆け2年前から授業を実施。昨年の中学3年生のうち英語技能検定3級相当以上が63%を超えた。



道の駅のチラシコーナー



小学校の英語授業の様子

ここを  
聞きたい

### 英語検定料の助成を！

**問** 今年度から新たな英語教育が始まった。英語検定試験も注目されると考える。世界へ羽ばたいていく夢を応援するため、検定料の助成も必要であると考えているが見解は。

**答** 他の自治体でも、英語検定だけでなく、漢字検定、数学検定なども対象に、全額や半額の助成をしているところもある。当別町においても、引き続き資格取得の助成について検討していく。

※1 ALT…Assistant Language Teacher の略。英語の授業で日本人教師を補助する外国語指導助手のこと。

## 一般質問

山崎 公司 議員



次のページは

議案の審議結果

定例会では、

質疑や討論と採決が行われました。

質問の  
ねらい

## 交流人口増加・4年目の道の駅

2017年9月に開業し、4年目を迎える道の駅の現状（入場者数・販売高・交流人口増加による町内への効果・道の駅ランキング等）について質した。次に、運転免許証の返納が急増しており、さっぽろ連携中枢

都市圏や北海道は返納者へ特典を与える取り組みを始めたことから、高齢者の免許返納について質した。また、昨年実施の小中学生の全国体力・運動能力・運動習慣等調査の結果について今後の改善策を質した。

ここを  
聞きたい

## 交流人口増加の効果

**問** 道の駅の入場者数・販売高・交流人口（2014年42万人・2018年117万人・2024年150万人予定）の増加による町内への経済効果を数値的にどう分析しているか。

**答** 令和元年度の販売高が4億円強で、国土交通省の経済効果の計算方法を用いた場合、定住人口330人相当。また、販売高の約8割が町内事業者分で、町内への経済効果は極めて顕著である。

ここを  
聞きたい

## 道の駅ランキング

**問** じゃらん道の駅ランキング2020が発表され、昨年の15位から10位にランクアップした。この結果を今後の運営にどのように参考にしているか。点数の低い部門をどのように改善するか。

**答** 伸び代も課題も多く、一つ一つクリアしてランクアップに努めてもらいたい。点数の低い部分も改善が必要だが、点数の高い直売所などに、より力を入れるほうがランクアップすると考えている。



4年目を迎える 北欧の風 道の駅とうべつ

ここを  
聞きたい

## 交通弱者への支援策

**問** 70才以上の町民で自動車免許証の所有者は何名か。昨年の高齢者の返納者数は何名か。免許返納者だけでなく、高齢者や身体障がい者の交通弱者に対する支援のあり方の具体策は。

**答** 所有者は5月時点で2,092名、返納者は2018年で20名。地域生活サポーターの支援、ふれあいバスの運行状況が分かるアプリの運用開始、タクシー定額サービスも準備を進めている。

ここを  
聞きたい

## 体力向上と生活改善を図る

**問** 日高町では、「早寝・早起き・朝ごはん運動」を条例化、香川県では、子どものネットやゲームの依存症を防ごうと「ゲーム条例」が成立、4月から施行された。町も条例化を検討しては。

**答** 条例化して進めるのは、この案件になじまない。何よりも家庭への啓発が重要。地道にPTAや学校運営協議会と協力し、家庭と一体となって児童生徒の生活習慣改善に取り組んでいきたい。

ここを  
聞きたい

## 入場料・バスの無料化を

**問** 小学生が体力向上を目指すためにも、コミュニティセンターの入場無料化や遠くに住む子どもの施設利用後のふれあいバスの無料化の実現は。

**答** 体力の向上、安全な場の提供については、同じ思いである。教育委員会として、今後関係部局と協議を進めて、前向きに検討していきたい。

【その他の主な質問項目】  
道の駅の新型コロナウイルス感染症対策 など